

平成 30 年度危険物施設の長期使用に係る調査検討報告書 骨子（案）

第 1 章 検討の概要

- 1.1 検討の目的
- 1.2 検討項目
- 1.3 検討体制
- 1.4 検討状況

第 2 章 危険物施設等の事故に関する調査

2.1 危険物施設等の事故に関する調査について

（1）危険物施設の事故調査

平成元年から平成 29 年までに発生した危険物施設における火災・流出事故のうち、経年劣化を主原因とする事故について調査分析した結果を示す。

（2）危険物施設以外のインフラ施設の事故調査

危険物施設以外のインフラ施設において発生した経年劣化を主原因とする事故事例について調査した結果を示す。

（3）海外の危険物施設等の事故調査

海外の危険物施設等で発生した経年劣化を主原因とする事故事例について調査した結果を示す。

第 3 章 危険物施設における定期点検の要領について

3.1 平成 30 年度長期使用に係る調査分析業務の概要

調査概要、調査対象事業所、調査方法、調査内容を示す。

3.2 事業所に対する調査結果

危険物施設の定期点検等における効果的な点検方法等について、事業所に対して実施したヒアリング・アンケート調査の結果を示す。

3.3 危険物施設における定期点検要領の提案

3.2 の調査結果を踏まえて、危険物施設における定期点検の要領を提案する。

第 4 章 モニタリング技術・診断技術に関する調査について

4.1 平成 29 年度長期使用に係る調査分析業務の概要

インフラ施設の維持管理に関し、既に利用されているモニタリング技術・診断技術や、研究が進められている内容についての調査概要や結果を示す。

【調査結果の事例案】

- （1）非破壊検査企業から聴取したモニタリング技術・診断技術（9 件）

- (2) 原子力施設、高圧ガス施設、電力施設、都市ガス施設、土木関連施設、化学プラント施設で利用されている技術についての文献調査の結果（11 件）
- (3) 国の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において、「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」の開発技術チームが研究開発しているテーマの中で危険物施設の維持管理等にも適応可能と考えられるテーマ（10 件）
- (4) 国土交通省の「社会インフラのモニタリング技術活用推進検討委員会」で報告されている海外のモニタリング技術から、危険物施設に適用可能性がある技術（4 件）

4.2 平成 30 年度長期使用に係る調査分析業務の概要

平成 29 年度の調査結果を踏まえ、平成 30 年度に実施した調査概要や、対象事業所・関係業界団体、調査方法、調査内容を示す。

4.3 事業所に対する調査結果

事業所において導入している又は導入を検討しているモニタリング技術・診断技術について、事業所に対して実施したヒアリング・アンケート調査の結果を示す。

4.4 関係業界団体に対する調査結果

関係業界団体で作成している維持管理に関するガイドライン等や、それぞれの会員企業で取り扱っているモニタリング技術・診断技術についての調査結果を示す。

4.5 今後の課題

今後の課題を示す。

第 5 章 屋外貯蔵タンクの浮き屋根の安全対策について

5.1 検討の背景について

ワーキンググループを立ち上げるに至った経緯を示す。

5.2 ワーキンググループについて

ワーキンググループの検討項目、検討体制等を示す。

5.3 各種調査結果について

浮き屋根に関するアンケート及び国内外調査の結果を示す。

5.4 今後の方針について

今後の方針を示す。

第 6 章 まとめ